

P-6-42 新型コロナウイルス感染症流行下における通いの場支援方法および活動状況の変化

笠井貴志¹⁾、天野奥津江¹⁾、根本裕太²⁾、北畠義典³⁾、荒尾孝⁴⁾

1) 都留市長寿介護課 2) 東京医科大学 3) 埼玉県立大学 4) 明治安田厚生事業団体力医学研究所



COI開示：演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

目的

コロナ禍において、介護予防担当課が通いの場（いーばしよ）29団体に対し提供した支援と、月別での活動団体数および新規立ち上げ団体数との関係を検討する。

方法

- 2020年4月～2022年3月の支援内容・活動状況を集計した。
- 支援内容は、支援を行った職員が電子ファイルに支援内容を記録し、各支援の提供回数を集計した。
- 活動状況は、各団体への電話等による調査を計14回実施した。

	令和2年度												令和3年度											
	R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2.10月	R2.11月	R2.12月	R3.1月	R3.2月	R3.3月	R3.4月	R3.5月	R3.6月	R3.7月	R3.8月	R3.9月	R3.10月	R3.11月	R3.12月	R4.1月	R4.2月	R4.3月
国の動向	全国緊急事態宣言 外出自粛要請			Go To トラベル			Go To イート			変異型 出現	ワクチン 開始	変異型 強まる				感染 急増			解除			オミクロン 急増		
県・市 感染状況	緊急事態宣言								市内 クラスター						県内 クラスター		県 まん防	県 まん防	解除					
市長寿介護課 対応	電話	訪問					訪問	訪問	電話	電話			電話		電話	電話	電話	訪問		招集		電話	訪問	
	活動自粛依頼	各「いーばしよ」へ感染予防チラシ、体温計、 手指消毒液等の物品を配布。初回再開時 には保健師による指導。					冊子 作成	体温計 配布	自粛 依頼	活動 ヒアリング			活動 ヒアリング		注意 喚起	活動 ヒアリング	自粛 依頼	通信 配布		連絡会 開催		相談 対応	通信 配布	
各「いーばしよ」	活動休止	複数の団体より活動再開希望の連絡あり。						新規1	休止		新規1						休止		再開1 新規1	再開1 新規1	再開1		新規1	新規1
「いーばしよ」 活動割合	なし		43%	52%	57%	61%		63%	なし	21%	28%	64%	68%	72%	72%	72%	なし	9/13～ 随時	81%	85%	89%	36%	36%	41%
活動数/全数	0/23	0/23	10/23	12/23	13/23	14/23		15/24	0/24	5/24	7/25	16/25	17/25	18/25	18/25	18/25	0/25		21/26	23/27	24/27	10/28	10/28	12/29

■ コロナ禍における「いーばしよ」対応時系列（R2.4月～R4.3月）



具体的な支援方法

- 活動再開時に、保健師が感染予防指導を行い、感染予防物資を配布した。
- 見守りが必要な参加者について、必要に応じて専門職が介入し支援した。
- 全団体の活動内容を掲載した『もっと。ずっと。元気』冊子を作成し、市内全戸に配布した。
- 団体役員が集う連絡会を開催し、意見交換を行った。

結論

- 市担当職員と保健師・社会福祉士・ケアマネなどの専門職員が一体となり、通いの場運営者と密に連絡を取り合いながら支援を行った。
- 活動自粛依頼をした期間は活動割合は0%であったが、第6波前の令和3年12月には、24団体(88.9%)が活動を再開した。
- コロナ禍でも6団体が新規に立ち上がった。